

SDGsがわかる



人は団結すれば強くなれる



大阪・関西万博の国連パビリオンは、持続可能な開発目標(SDGs)が実現された世界を映像で示し、そのためには世界中の人々の団結が必要だとうたえています



SDGsについて学ぶ中国の学生たちに人々を動かす国連(SD)ミニマーカーとして講演した根本かおるさん

国連の設立にこめられた願い

「われらの一生のうち二度まで言語に絶する悲劇を人類に与えた戦争の惨害から将来の世代を救い……」

日本で暮らす人々にとって、8月は平和について考える機会が増える時期です。特に今年には第2次世界大戦が終わってから80年という節目の年。国際連合も今年、創設80周年を迎えます。「国際の平和と安全」「開発」「人権」の三つの柱に設立された国連の意義について、改めてふり返ることが大切だと、根本かおるさんは語ります。



国連の活動は、日本で暮らす私たちにもつながっています。国連で決定されたことを、さらに協定や条約に発展させ、貿易、コミュニケーション、移動が安全に行われるためのルールなどを確立しています。もし、各国が電話、航空、輸送、郵便のシステムを独自に開発し、他の国々と調整しなかったら、大混乱になるでしょう。国連機関が中心となって国際的なシステムとルールを管理しているおかげで、世界の旅行、通信、貿易はスムーズに行われているのです。しかし、今、私にはとても気になることがあります。国連憲章をはじめ、国際的なルールに違反して武力を使う国々が出てきたことです。説明責任を負わず、処罰されないことがまるで通用するかのようになっています。また、世界の軍事予算は増加し続け、2024年には年間2兆7182億ドルにも上っています。一方で、国連の人道支援活動への資金提供や、開発途上国の医



根本かおるさん 兵庫県出身。東京大学法学部卒、アメリカ・コロンビア大学大学院修了。テレビ朝日のアナウンサー・記者などを経て、1996年から2011年末まで国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)で勤務。国連世界食糧計画(WFP)広報官、国連UNHCR協会事務局長としても働いた。フリージャーナリストの活動を経て、13年8月から現職。

療や開発などへの資金援助が大幅に減らされています。軍事費のわずか1%を人道支援活動にあてられれば、1億人以上の人々の命が助かるのです。大阪・関西万博の国連パビリオンで上映中の映像は、こうしめくくられています。「人類は団結したとき最も強くなる。より良い未来のために、みんなで団結しましょう。」対立が激しくなり、分断が深まるべきとき、団結することの大切さを、みなさんにしっかりと伝えていきたいと思っています。

武力ではなく人道支援に力を

の設立にこめられた願いに、ふれてもらうことが始めたいからです。国連は「これまで、第3次世界大戦が起きるのを未然に防いできました。対話はあらゆることよりも解決につながります。協力し合うことで、あらゆる人々が平和な世の中、人として尊重され、平等に暮らせる世界を構築できる」とい

国連憲章

「国際連合(国連)憲章」は、国際連合のありかたや加盟国の権利と義務などを定めた文書です。この憲章にもとづいて、国連は活動しています。本文で取り上げた「前文」のほか、19章111条から構成されています。前文では、戦争のいまし

(掲載：朝日小学生新聞 2025年8月14日掲載)